

6月22日（土）

ABPT決勝のショットクロック制について（プレイヤー向け）

ショットクロック制とは、プレイヤーがアクションする際に「30秒以内にアクションしなければならない」というポーカーのルールのことを言います。

プレイヤーはそれぞれ5枚ずつ「タイムバンクチップ」という金色の金貨を模したチップを持ち、そのチップを消費することによって追加で30秒単位で思考時間を確保することができます。

今大会では、2テーブルになり次第ショットクロック制を導入し、1人5枚ずつのタイムバンクチップが配られます。

タイムバンクチップはFT時に、1人5枚ずつになるように補充されます。

- ・ カウントダウンが残り10秒になった時点でディーラーは「残り10秒です」とアナウンスします。

- ・ 残り5秒からは「5,4,3,2,1,0」と数字をカウントダウンします。

- ・ ショットクロックが0秒になったら、そのプレイヤーがまだタイムバンクチップを所持している場合はプレイヤーは自動的にタイムバンクチップを1枚消費することになります。アクションが終わったら使用した枚数をディーラーに渡してください。

- ・ 一度のアクションで使えるタイムバンクチップの上限はありません。例えば、5枚を一度のアクションで使用したら、初めの30秒と合わせて最大で3分間考えることができます。

所持タイムバンクチップが無いプレイヤーが30秒を使い果たした場合は、

- ・ そのプレイヤーがベットに対して悩んでいる場合は強制フォールド

- ・ そのプレイヤーがチェックやそのラウンドでの最初のアクションで悩んでいる場合は強制チェック

になります。

- ・ カウントが0秒になるのと同時に行ったアクションは有効とします。

- ・ オールインされたチップをディーラーがカウントする場合は、一度ショットクロックを停止し、カウントが終わったらもう一度再開します。